

2026年度 東京医科大学 医学部医学科  
一般選抜・共通テスト利用選抜

小論文

I. 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子は開いてはいけません。
2. 試験開始後、頁の落丁・乱丁および印刷不鮮明、また解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 試験終了後、解答用紙を回収します。
4. この問題冊子は持ち帰ることができます。ただし、試験終了後、監督者の指示があるまでかばんの中等にしまうことはできません。
5. 監督者の指示に従い、解答用紙の「受験番号」・「氏名」欄に正しく記入してください。

II. 下記の文章を読み解答してください。

1. 試験時間 : 60分
2. 課題 : 日本語の課題1題
3. 解答の仕方 : 解答用紙に記入してください。

次のページに進む →

下記の文章は、江戸時代後期に江戸の長屋に住んでいた人びとの暮らしを紹介したものです。下線部で、筆者は長屋に住む人びとにとって隣近所との「親密な挨拶」は「強固な仕切り」となったと述べています。まず、親密な挨拶が強固な仕切りとなるとはどういうことなのかを説明しなさい。そのうえで、あなたが日頃経験している挨拶の例を1つ挙げて、それがどのような意味や役割を持っているかを、下線部の挨拶との同異に触れながら600字以内で述べなさい。

文章は著作権の関係上、現在掲載できません。  
8月上旬頃、全文公開予定。

文章は著作権の関係上、現在掲載できません。  
8月上旬頃、全文公開予定。

杉浦日向子『江戸へおかえりなさいませ』河出書房新社より一部改編